

副町長に山本直樹氏が就任

7月27日に開かれた臨時議会で副町長の選任に関する議案が議決され、総務省出身の山本直樹氏が副町長に就任しました。

山本直樹氏は、京都市出身の38歳。平成11年に総務庁(現総務省)に入庁、平成23年から行政管理局副管理官(金融庁・財務省担当)として行政組織の定員・編成管理を行ってきました。平成12年から13年まで鳥取県庁市町村振興課での勤務経験もあり、町政に新しい風を吹き込むことが期待されています。

就任のごあいさつ

はじめまして。8月1日から山都町副町長に就任しました山本直樹です。これまでは、総務省や鳥取県庁などで仕事をしてきました。

赴任が決まり、東京から初めて山都町に参りましたが、すぐに山都町が大好きになりました。私が感じた山都町の魅力は、まず、数多くの棚



田や清流・滝、有機野菜・茶・ブルーベリーなど自然が豊かで山の恵みにあふれる町であること、通潤橋・清和文楽・日向往還など歴史が息づく町であること、そして何より人が元気で温かい町であることです。これらは山都町の誇りであると思います。

少子高齢化・人口減少、景気低迷など取り巻く環境は厳しいものがありますが、山都町をさらに自立した元気で魅力ある町にするために力を尽くしたいと思っています。まず、10月の全国棚田サミットを皆さんで成功させ、棚田を始め山都町の魅力を全国に発信しましょう。

微力ですが、人との出会いを大切に、皆さんに教えていただき勉強しながら、甲斐町長を補佐し、職員の方と一緒に全力で仕事に取り組みます。妻、子供3人もども山都町でお世話になります。山都町のいいところ、ぜひもつと教えてください。どうぞよろしく願います。

お世話になりました。

6月30日をもって、岩永恭三氏が副町長を退任しました。



町長室から 甲斐利幸

10月に、全国棚田連絡協議会の総会と、棚田百選に選定された棚田のある市町村の首長会議(棚田サミット)が、山都町で開催されます。農林水産省の呼びかけに、山都町は、菅地区と島木峰地区を応募しました。文部科学省は、通潤用水と白糸の棚田を「文化的景観」として選定しました。全国の棚田は、それぞれ個性的で、素晴らしい景観に恵まれています。

春は、早苗が風に揺れ、秋は黄金の稲穂が頭を垂れる棚田は、瑞穂の国日本の田舎の原風景でもあります。

この催しを契機に、美しい田舎の公園を築きたいと考えています。それぞれの家庭の部屋、庭を整然と綺麗にし、地域の道路には、ポイ捨てされた空き缶やペットボトルなどのゴミも見当たることなく、自治振興区で5年間実施した緑化事業等も色をそろえ

て、町全体が公園のようになることを目指します。車からのポイ捨てをやめて、みなど美しい山都町をめざしたいものです。

ゴミを捨てず、寧ろ目の前のゴミを拾う気持ちは、人を大切にする思いに通じるものです。将来の山都町は、九州中央自動車道の完成、矢部阿蘇公園線の開通により、劇的に賑わいをみることになりま

す。そうしたときに、町外の方をもてなす人情と緑の環境を今から築きあげたいと考えています。

Iターンの方々との懇親会では、山都町の環境の素晴らしさでの評価は異口同音でした。東京で催された棚田学会は、都市住民や大学の教授等で構成されています。その総会で議長を務め、交流会にも参加しました。田舎の原風景である棚田への彼らの熱い思いは、過疎化著しい多くの地方にとって、心強いエールでした。

副町長に、総務省の職員を迎えました。新鮮な感覚で町政を支えていただきます。家族全員での赴任です。

自然の中で豊かな子育てもたち その32

矢部郷自然観察会 代表 藤吉 勇治

今年も7月28日から「山都町絵本カーニバル」が7日間にわたって清和文楽邑を会場に開催され、29日にはカーニバルの行事の一つとして、矢部郷自然観察会による「川の生きもの観察会」を文楽館裏の大矢川で実施した。

今年のカーニバルのテーマは「架け橋」。観察会で地域の自然と触れ合い、生きものたちと出会うことで、絵本の世界をより豊かに楽しむことができると考えた。

さて、梅雨末期の大雨で大矢川もかなり増水していたため、川の中に住む生きものたちへの影響が心配された。当日は家族連れなど30名の参加者が集まった。始まりの挨拶で、大雨で川が増水したことに触れた。水面から高い位置にある木の枝先にゴミが引っかかっているのに気づき「あそこまで増水したんだ。」と驚く子どもたちだった。

さっそく川に入り、たも網を使って水の中の生きものたちを集めた。ヘビトンボを初めて見て驚いたり、サワガニを見つけて喜んで、川は子どもたちの歓声に包まれた。しばらく採集した後、川岸でグループ毎に生きものたちを種類別に分けた。川の水质を調べる手がかりとなる生きものたち(指標生物)を探すのだ。

生きものを分類できたところで、全員で確かなめ合い、まとめをした。カワゲラなど「快適な水環境」の手がかりとなる生きものが7種類いるが、それら全ての生きものが見つかると、次のレベルの



「親しめる水環境」の生きものも見つかったが、総合判定は「快適な水環境」。つまり大矢川の排水はかなりよいことが分かった。

川の水質悪化の一番の原因は、私たちの生活排水と言われている。「快適な水環境」は、子どもたちの生活とつながっている。子どもたちの豊かな成長への「架け橋」となる活動を今後も大切にしたい。



YOU&YOU通信

Vol.63

7月の交流会

今月は2回の交流会を実施しました。1回目は、15日に山都町にて『チポリーノ』竹本氏の指導のもとパン作り、梶原結婚相談員の指導のもとチーズ作りを体験し、最後はバーベキュー懇親会で終了しました。

2回目は、22日に熊本市内で、フリートーク&懇親会で交流しました。どちらも楽しい時間があった交流会となりました。このように毎月交流会を行っています。ぜひご参加ください。

峇北町から研修に来られました

7月25日(水)、峇北町から町長、JA代表理事組合長を含む峇北町農政審議会委員、農業委員会、役場関係職員14人が来町されました。

峇北町では、農業後継者対策として企画・運営をされており、なかなか成婚率が上がらないことが悩み、すでに24組のご夫婦が誕生している山



都町での取り組みについて研修にいられました。これまでのYOU&YOUの経験を踏まえて、重要なポイントなどをお話ししました。



松本 友幸 (城平)
7210001

☆結婚相談員です！☆

YOU&YOUを通じて結婚した経験者として、参加者視点でお力になれるように頑張ります。又、先日のコラボ企画のように、商工会青年部として、楽しい企画に携われたらと思っています。宜しく願います。

●問い合わせ先

YOU&YOU事務局 (役場 総務課) 成瀬・吉田
【専用電話】090-9565-9589
【専用アドレスPC】marriage.support@town.kumamoto-yamato.jp
【専用アドレス携帯】you_and_you@docomo.ne.jp